



THE SERVICE CLUB OF YMCA
THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

札幌クラブ

c/o YMCA
MINAMI 11 NISHI 11
CUO-KU SAPPORO
〒064-0811
011(561)5217

ワイズ理解・IBC

— 主題 —

- 国際会長 「輝かそう、あなたの光を」
- アジア会長 「変革のための光となろう」
- 東日本区理事 「未来のために今、学びと気づきを！
未来のために、自信と喜びを感じる機会を！」
- 北海道部部长 「楽しく仲良く活動しよう」
- 札幌クラブ会長 「充実した人生を送るためのワイズ活動」

- Ulrik Lauridsen (デンマーク)
- 利根川恵子 (川越)
- 山田 公平 (宇都宮)
- 古賀 勝己 (北見)
- 小野 健 (札幌)

- 札幌クラブ役員
- 会長 小野 健
 - 副会長 小谷 和雄
 - 書記 山崎 修
 - 会計 秋葉 聡志
 - 直前会長 伏木 康

今月の言葉

「初めに言(ことば)があった。」

ヨハネによる福音書1章1節 森本 武選

巻頭言

「心の中の差別」

柴田 伸俊



日本でも多様性を受け入れる時代が来ている中、自分でも時代に遅れないように心がけているのだが・・・。

茶髪や大きなピアスの若者、または野球帽(野球帽の名称がすでに古い)を斜めや後ろ向きにかぶっている若者を見ると、それだけ

でドキッとしてしまう。そしてこれが今どきのファッションなんだと自分に言い聞かせている。だが鼻ピアスやへそピアスを見ると「君たち大丈夫か？」とつい上から目線で心が叫んでしまう。

「入れ墨」の解釈も既に揺れ始めている。今では海外から多くの人々が来てくれているのに、お風呂屋が『刺青の方お断り』は通用するのだろうか。既にタトゥーがファッションとなっているこの時代に、どう解釈すればよいのだろう。『刺青の方お断り』は通用するのだろうか。

私の町内の話になるが、私は月一度桑園公園で子ども達の遊び場を開いている。その中の常連となっている6年生の女の子が自分のことを「ボク」と呼び、「ボクはこれが好きなんだけどな～」と話している。

それに対して仲間は何の反応も示さず、ごく普通に仲間同士で会話している。仲間はずれにするわけでもなく、面白がる風もなく、最初は「あれ？」と思った自分であったが、あまりにも普通なのでそのまま慣れてしまった、と言うよりは「これが多様性かな」と自分に言い聞かせている。

このように表向きは多様性を受け入れている風の自分なのに、心の中の葛藤は何なんだろう。丸坊主の詰襟(ツメエリ)学ランを何の疑問も持たずに過ごしてきた自分がどこで多様性を受け入れ始めたのだろうか。

今月の「強調テーマ」は「キリスト教理解」としているクラブが多いようですが、ノン・クリスチャンも多くなりましたので、あえて「ワイズ理解」にしました。

IBCはもちろん International Brother Club (国際兄弟クラブ)です。

2023年10月例会
出席報告

在籍会員 13名 出席者 10名 メネット 0名 メーキアアップ 1名
ゲスト 3名 ビジター 1名 出席者合計 14名 出席率 85%

札幌ワイズメンズクラブ 2023年12月例会

日時：2023年12月20日（火）19:00～21:00

会場：いぶしかもし酒場 Choi-Nomi

札幌市中央区南2条西8丁目4-7

☎ 011-215-0785

会費：会員 5,000円（汝羊寮生 1,000円）

（会場の雰囲気等で変更、黙読、中止
などがあります。ご了承下さい。）

- | | | |
|--------------------|--------|---------|
| | 司会 | 小野 健 |
| ① 開会点鐘 | 会長 | 小野 健 |
| ② ワイズソング、ワイズの信条 | 全 員 | |
| ③ 今月の言葉・なぜこの言葉を | 森本 武 | |
| ④ 開会あいさつ | 会長 | 小野 健 |
| ⑤ 誕生日 | 12月22日 | 山崎 修 |
| | 12月23日 | 山崎 樹子 |
| ⑥ 結婚記念日 | 12月24日 | 山崎 修・樹子 |
| ⑦ 自己紹介、歓談、etc,etc. | | |
| ⑩ 今月の歌 | | |

「もろびとこぞりて」

讚美歌21 261番

（小谷和雄選）

閉会挨拶・点鐘 会長 小野 健

*（プレゼント交換を行いますので
各自1,000円程度のものをご持参下さい。）

何故この聖句を！ 森本 武

〔初めに言(ことば)があった〕。言葉の行き違いで
トラブルやチャンス逃したりしますヨネ。

特にクラブ員、同僚等々、人間関係で揉める事
多いと思うけどどうやろう。そんな事どうでもいい
やん...と思う。難しいな。だけどなこんな事あつ
たん知っているやろ。

アダムとイブの話、それ食べたならアカンで言う
てるのに食べてもた。その結果？

自分に戒めています。 すいません。

何故この歌を！ 小谷 和雄

クリスマスに因んで、ポピュラーな「ジングルベル」
と考えましたが、汝羊寮の学生さんが来られる
ので、讚美歌21から選曲しました。261番「もろ
びとこぞりて」です。

キリスト教徒でない方でも、メジャーな曲ですが
ら、一度や二度聞いたことがある曲だと思います。

11月古賀北海道部長公式訪問例会

日時：2023年11月21日（木）18:30～20:30

場所：札幌YMCA 101教室

参加者：秋葉、小谷、小野、北川、柴田、中田、伏
木、宮崎、本宮、安田 on line 山崎、

ビジター：古賀（部長）ゲスト（卓話者）：佐藤
出席者合計 13名

11月例会は古賀北海道部長を迎えて行われました。
最初に古賀部長から部長としての計画、期待、決意の
表明があり、卓話には佐藤雅一氏（前担当主事）が北
海道YMCAが30年にわたり継続してきた「ベトナム
支援」を熱く語って頂き、充実した例会でした。



札幌クラブ公式訪問を終えて

北海道部部长 古賀 勝己



11月21日の札幌クラブへ
部長として公式訪問に行っ
て来ました。数年前にも一度部
長をした時は、例会の会場は
ホテルで食事をしていまし
た。現在はYMCA会館で弁
当を持ちこんでの例会となっ
ていました。時代の流れと
変化を感じましたが年に数

回はホテルで食事、懇親会付も考えて見てもいいか
と思います。セレモニーもキチンとこなして素晴ら
しい開会でした。

卓話は「ベトナム・ボランティア・ワーク」の活
動報告でした。発表の準備が大変だったと思います
が、素晴らしく、内容が深く感動いたしました。

最後に「今月の歌」をみんなで歌いました。
私は色々な会合に出ますが、これほど感動したプ
ログラムは初めてです。選曲者のコメントも楽し
く読めて、これからも末永く継続して行って欲しい
です。今年は「札幌クラブ」と「札幌北クラブ」
という二つのクラブが共に歩み出す大事な一年とな
りますので協力しあって全員一致での活動を期待し
ております。夜の懇親会も用意して頂き小野会長
ありがとうございます。楽しい思い出が出来まし
た。また皆様とお会い出来るのが楽しみです。

ベトナム・ボランティアワークの旅 28年の思いを語る 佐藤 雅一

1. ベトナムボランティアワークの旅開始の経緯



1990年代に入り、ベトナム政府は経済の開放政策（ドイモイ）により、それまでは難しかった YMCA 運動が可能になってきました。そこで、ベトナム国内では YMCA 運動を再建させるため VYS（ベトナム・ユース・サービス）の名称（YMCA の名前はまだ使うことが難しいため）で活動が始まりました。

当時の黒田総主事は、北海道独自でワークキャンプを行うことを考え、VYS と協働で「ベトナムボランティアワークの旅」を1996年8月に開始しました。1999年に初代総主事が交通事故で死去された後、ロックさんが総主事に就任し団体名をベトナム YMCA に変更しました。

当初、ドンタップ省で始めたワークキャンプは、2012年にベンチュエ省に活動地域を移しましたが、2023年までの28年間で、住宅（戦争寡婦のため）2棟、小学校の教室15棟、幼稚園の教室12棟を建設し、延べ参加者は236人になっています。また、ベトナム YMCA が支援してきたハンディキャップセンターには、車いす63台を届け、20年にわたってセンターで作っているビーズキーホルダーを購入してきました。

2. 事業に対する考え方の変化

当初は、外務省や JICA の資金を活用出来る事業にしていくことを目標に考えていましたが、活動を続ける中で、むしろ会員と地域の人々に支えられた活動としていくことが大切だと考えてきました。

この活動は、ベトナム YMCA が地域の人々と共に考えたものを北海道 YMCA が協働で取り組む活動であり、ODA（政府開発援助）とは異なる部分が多く、ODA ではないことをベトナム YMCA と北海道 YMCA が協働で行うことが大切だと考えてきました。

そのため、バザーや街頭募金、地域の NGO と共に行うイベントを通じ資金を集め、北海道発のボランティアワークとしてユースや市民が参加して続けてこれたことは、とても大きな意味を持っていると考えています。



上写真：左隅、佐藤。隣は古賀部長。右隅、小野会長

3. ベトナムでの出会い、支えてくれた仲間

28年の活動を振り返るとき忘れることのできない人たちが大勢います。特にベトナム YMCA 総主事のロックさん、ユンさん、ハンディキャップセンターのマネージャーを務めていたチュンさんがいなければ今日まで活動を続けてこれなかったと思います。

ボランティアワークには、高校生から70代の方までが参加しています。一度の参加で終わる方もいますが、リピーターとして長くこの活動を支えて下さった方も多くいます。特に、伊藤徹さんは、20年近くボランティアとして関わって下さり、私にとっては2人3脚で一緒にこの活動を作ってきたと思っている大切な存在です。

伊藤さん以外にもリピーターとして参加して下さいる方にも助けられ教えられてきました。一般の旅行のように、企画する側と参加者の関係ではなく、むしろ参加者が主体的に関わることが、この活動の意義を作り上げてきてくれました。その姿にいつも多くのことを学んできました。

YMCA 専門学校生の参加も延べ31名が参加しています。正直、手を焼いた学生もいましたが、多くの学生が全身でワークや地元の人々との交流に取り組む姿にふれ、この活動の意義を改めて考える機会を与えてもらったと感じています。単に学生時代の良き思い出として感じているだけでなく、進路や就職先に影響を与える経験をこのワークキャンプから得た学生達も多くいます。

4. これからの課題

ベトナムはこの28年でとても豊かになったと思います。ホーチミンでは、東京と変わらない街並みや生活の様子を見ることが出来ます。この国に国際協力がまだ必要なのか、そんな声が聞こえてきてもおかしくないかもしれません。今年、新しい幼稚園の教室を建設した地域も28年前の農村と比べれば生活環境は良くなってきていますが、ホーチミンの状況と比べるとまるで別の国に来た感覚になります。経済的格差・教育環境の格差はむしろ広がってきていると感じました。

豊かに見える都会の陰で、農村部における支援の必要性は、見えづらくなってきていると感じています。

見えづらくなっていく支援の必要性に目を向け続け、支援の必要な所へ支援を届け続けるには、顔の見える関係、深い信頼に裏付けられた関係を築いていくことが大切になります。

28年間の活動により、ベトナム YMCA やユンさんを通じて現地の状況や地域の人々の願いを直接聞くことができます。又、会員や地域の人々に対し直接語りかけ、協力をお願い出来る強みを北海道 YMCA は持っていると考えています。「ベトナムボランティアワークの旅」はベトナムと北海道を結ぶ重要な架け橋であり、この活動の意義を常に検証してくれる活動だと感じています。

札幌ワイズメンズクラブの皆さんには、28年間応援していただきありがとうございました。いつも気にかけて下さり、節目節目では支援していただいて、本当にありがたかったですし、力を与えていただきました。今後ともこの活動をご支援下さいますようお願い申し上げます。

① ラッコ・マンボウ水泳発表会(報告)

去る11月23日(祝)に、障がい児・者水泳会員のための第36回ラッコ・マンボウ水泳発表会が札幌YMCAプールで開催されました。25名の参加者で人数としては少々物足りなさを感じられましたが、観覧された保護者やボランティアとして運営をサポートしてくれた札幌医科大学医学部水泳部の温かい声援があり、とても良い雰囲気の発表会となりました。今後も参加者にとって有意義な行事となるよう、スタッフ一同、日頃からメンバー・保護者との対話をより一層深めていきたいと思っております。

ワイズメンズクラブからは、小野会長、小谷、柴田、宮崎、本宮が参加。アイスコーヒー+飴の提供を行いました。



② YMCA 幼稚舎クリスマス礼拝(報告)

12月5日(火)に、札幌YMCA幼稚舎園児によるクリスマス礼拝(降誕劇)が札幌YMCA体育館で行われ、保護者・関係者総勢90名程のゲストと共に、イエス様のご降誕をお祝いしました。

各学年の園児に役割が与えられ、年少組は讃美歌を、年中組は招きの言葉と讃美歌を、年長組は招きの言葉と劇・劇中歌、讃美歌を、堂々と披露しました。



神様の御言葉に触れ、イエス様のご降誕をお祝いでき、園児が晴れの舞台でしっかりやり遂げ、素晴らしいひと時を皆で送ることができたことを嬉しく思います。

本宮メンが出席。小谷メンは園児に配布する美しいXマスカードの作成でお協力頂きました。

ワイズの信条

1. 自分を愛するように、隣人を愛そう。
2. 青少年のためにYMCAに尽くそう。
3. う。世界的視野をもって、国際親善をはかる
4. 義務を果たしてこそ、
権利が生ずることを悟ろう。
5. 会合には出席第一、
社会には奉仕第一を旨としよう。

日時: 2023年11月28日(火)19:00~20:15

場所: 札幌YMCA 総主事室+オンライン

出席者: 【対面】小野(長)、秋葉、小谷、北川、中田、伏木、宮崎、本宮 【web】柴田

1. 12月忘年会例会

・日程: 12月20日(水)19時~

・会場: いぶしかもし酒場 Choi

(札幌市中央区南2条西8丁目4-7 011-215-0785)

<https://choi-nomi.com/shoplist/ibukamochoi/>

・参加者: 札幌クラブメンバー+汝羊寮学Yメンバー

・参加費: ワイズメン 5,000円 寮生 1,000円

2. 時計台コンサートの準備について

・日時は12/13(水)17:30集合。

・琴ユニット「アルメリア」と安田さんとのコラボ。

・当日参加: 秋葉、秋葉メネット、小谷、小谷メネット、

柴田、柴田メネット、北川、宮崎、宮崎メネット、

伏木、本宮

・会場セッティング、受付(安田母)2~3名必要、
会場整理、CD販売

・クラブメンバーによるチケット販売状況の確認。

小谷3 宮崎10 小野0 伏木3 中田6 秋葉5
本宮1 北川7 計35

3. 北海道部会長会議について

・11/9(木)19時~Zoomミーティングにて実施。

・北海道部(古賀部長、小谷、柴田、中村、山下、近藤)、十勝クラブ(池田)、小野

・ユースアクション2024についての説明

・法人化推進アンケート(期間11/1~12/5)

・第27回東日本区大会の準備状況について

・各クラブの活動状況について報告。

10. 次期札幌クラブ役員:

・会長: 小野 副会長: 山崎(小野会長より打診) 書記: 本宮 会計: 秋葉

・小野会長は2024年は海外出張がこれまで以上に多くなる見込みなので、副会長、書記、会計をはじめとして、クラブメンバーの皆さんのサポートが不可欠。

4. 第27回東日本区大会の準備・参加について

・2024年6月1日(土)本大会、

5月31日(金) チャリティーゴルフ・前夜祭

・参加申し込み、宿泊先の手配などをどうするか?

・十勝クラブがメインで準備中だが、札幌クラブとしてのサポート・お手伝いをどうするか(古賀部長からも要請あり)。☞小野会長から十勝クラブに確認

5. その他協議・検討事案

1) 東日本区アンケート提出リマインド

2) 次回事務会 12月26日(火)19:00

3) 1月例会日程: 1月16日(火) 会長オンライン参加

以上 記録: 秋葉 ブリテン用縮小版作成: 中田